



あしひ



麴町消防団だより



就任 本団 松迫副団長 紹介



令和五年四月一日付で副団長に就任した松迫茂樹です。

未だ本業とは言えませんが、民間業となる植物を育てています。東日本大震災以降、日本に不老不死の仙薬を探しに来た徐福伝説や戦国武将の健康法等に興味を持ち、数年前から定期的に放置林の開墾や実生苗の栽培を一人で始めました。失敗・断念・負傷はすべて自分次第、こんな冒険に導かれたのも消防団だったからだと思います。

動く前に自分の安全を確保して動く。消防団人生は面白いことがある。それを伝えていくのも私の使命かもしれません。

就任 第三分団 飯塚分団長 紹介



令和五年四月一日付で第三分団長に就任した飯塚正秀です。第三分団は主に富士見地区、飯田橋地区を管轄しています。

私自身、平成十六年に麴町消防団に入団し、この度、第三分団長という大役を任せて頂くことになりました。これからも初心を忘れず、第三分団一丸となって、地域の皆さんの安全を守るために尽力していきますので、よろしくお願ひします。

千代田区内三署合同水防訓練

第一分団 松井 てる子

令和五年五月二十六日(金)、北の丸公園にて、千代田区内三署合同水防訓練が開催されました。

今回は、マンホールの蓋が噴出しないように土嚢でおさえる工法を行いました。その矢先、豪雨による床上浸水、道路冠水などがテレビで報道され、訓練以上の大変さを目の当たりにすることになりました。自分の地区や自宅を守るためにはどうしたらよいのか、土嚢はどこにあるのか、訓練を重ねるたびに改めて災害の怖さを感じるとともに、日頃から災害に備えて準備をすることの大切さを身に染みて感じる事が出来ました。

この経験を皆さんにも共有し、引き続き地域の安全・安心のために努めていきたいと思ひます。



消防団操法大会

令和五年六月十一日（日）、区立外濠公園にて麴町消防団の操法大会が実施されました。大会に出場した団員に感想や意見をいただいたので紹介いたします。

新しいメンバーも参加した操法大会でしたが、日々一つ一つ積み重ねるようになっていくことを増やすことができました。

私は昨年の大会も出場させてもらったため、できることも多くあった反面、忘れていた動作もありました。動作をもう一度思い出しつつ、初心を忘れずに取り組むことができました。第一分団らしく、一つ一つ丁寧に綺麗にこなすことができました。三位という結果ではありましたが、とてもいい経験ができ、順位以上の価値があった操法大会になりました。

（第一分団 萩原 匡司）

今回、初めて消防操法大会の選手を務めました。最初は足手まといになるのではないかと不安に思っていました。先輩方から丁寧に教えて頂いたことで、自信をもって大会に臨むことができました。

担当した三番員を通して、無駄のない動きと他の選手との連携の大切さを痛感しました。今回のチャレンジで第一分団のアットホームさに救われ、コミュニケーションの大切さに気付き、学生としてこの貴重な経験ができたことに感謝いたします。

（第一分団 小野 百合子）



優勝 第二分団員 紹介

指揮者

那知 和与志 班長



今年は昨年の指揮者敗北のリベンジを誓って臨んだ操法大会でした。最高の仲間にも恵まれ五年ぶりの優勝ができて良かったです。また、第二分団と第三分団の合同練習も都大会訓練のような緊張感高まるとても良い刺激でした。

一番員

久保寺 拳大 団員



今回、消防操法大会に初めての出場だったため出場が決まったときから不安でしたが、毎回の練習で細かく指導して頂いたおかげで上手く動けるようになり、それにつられて不安も無くなりました。

二番員

金子 修平 団員



操法大会に向けた訓練や準備を通して、基本的な動作や器具愛護等多くを学ぶ事が出来ました。そして、消防署や地域の方々の協力や理解のもと活動出来る事も再認識致しました。今後も活動を通して地域社会に貢献出来るように取り組んで参ります。

三番員

清原 康介 団員



操法大会で優勝することができ、大変嬉しく思います。第三分団との合同練習を通じて絆を深めることができたのも、貴重な経験となりました。今後とも消防団の一員として地域の安全に貢献できるように努めてまいります。

四番員

岩田 一仁 部長



今年の消防操法大会は、久しぶりに選手として出場させて頂きました。選手として出場するのは『今年が最後』という気持ちで挑んだ今大会でしたが、優勝という形で有終の美を飾ることが出来ました。皆さんに感謝です。

補助者

中島 遥希 団員



第三分団との合同訓練をする中で、お互いが協力をして高めあっていたと思います。この操法大会全体で学んだことを活かして日々の消防団活動ができれば良いと思えました。

靖国神社みたま祭り消防特別警戒

第二分団 菅井 美妃

令和五年七月十六日(日)、みたま祭りに伴う消防特別警戒に従事しました。警戒をする立場として参加するのは初めてのことでしたが、たくさんの方が靖国神社を訪れている様子を見て「年に一度のこのお祭りを、何も気にせず楽しんで欲しい」と感じました。そのためにも、地域の安全を守る消防団として活躍していきたいと思えました。ですが、やはり経験の浅さから、トラブルに咄嗟に対処するのはとても難しかったです。思うように役に立てずもどかしい気持ちにもなりましたが、この経験を忘れずに、これからさらに訓練や講習に積極的に参加して消防団員としてのスキルアップに努めていきたいです。



納涼の夕べ消防特別警戒

第三分団 村松 健吉
むらまつ けんきち

令和五年七月二十六日から二十七日に千鳥ヶ淵で行われた「灯ろう流し」の警戒に麴町消防署、本団、第二分団と第三分団が参加しました。この行事は昭和三十三年に始まったことで、東京タワーの完成や浅草寺の本堂が再建されたのと同じ年になります。日の入りは十八時五十分でしたので、灯ろうが放たれた十九時は未だ一帯は明るかったのですが、時間の経過とともに灯が際立ってきました。警戒に当たられた救命ボート警戒隊も、ボートを漕ぐ皆さんも、暗闇のなかで細心の注意を払ったことと思います。事故もなく無事に終了しました。



上級救命講習

第一分団 蒲原 真弓
かほら まゆみ

令和五年八月五日、麴町消防署にて上級救命講習を受講し、応急救護活動の基本となる、心肺蘇生、AEDの取扱い方法、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法を習得する事ができました。救急車到着までに、心肺蘇生等の適切な処置を行う事ができれば、傷病者の命が助かり、元通りに社会復帰できる可能性が大幅に増大するそうです。万が一、身近で緊急事態が生じた際には、今回の学びを發揮し、命のリレーのバトンを繋いでいきたいと思っています。



令和五年度千代田区消防団合同点検

日時：令和五年十月二十八日（土）十四時から十五時三十分まで
場所：千代田区五番町先 区立外濠公園総合運動場
参加者：千代田区内の全消防団（丸の内消防団・麴町消防団・神田消防団）
どなたでも入場は可能です。消防団の規律ある行動、日頃の訓練の成果をご覧ください。

関東大震災から百年が経過

一九二三年九月一日に起きた関東大震災から百年。当時の地震の規模は推定マグニチュード七・九、死者・行方不明者約十万五千人が発生する大災害となりました。日本の自然災害史上、最悪の震災と言われています。あれから日本は着実に防災力を高めています。やはり最後は人の力が必ずやります。

麴町消防団では、地域防災力の要として、一緒に地域を守ってくださる方を募集しています。十八歳以上の心身ともに健康な方で、千代田区に居住している方、または勤務、通学している方であれば、どなたでも入団できます。左記のQRコードでは麴町消防団のホームページを確認できます。少しでも興味のある方はぜひご確認ください。皆さんの入団をお待ちしています。



【麴町消防団HP】



《問合せ先》

麴町消防団事務局（麴町消防署内）
電話 三二六四一〇一九（内線三二〇）

編集：麴町消防団
後援：麴町消防署消防団事務局